

平成27年第11回定例教育委員会

平成27年11月25日(金)午後2時03分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長 委員 委員 委員 教育長	支 部 英 孝 上 野 聡 志 郷 早 見 橋 本 幸 子 月 田 健 二	説明員	教育部長 齊 藤 俊 彦 教育部次長 萬 直 樹 学校教育支援室長 総務課長 伊 藤 忠 信 総務課参事 大 村 勇 二 総務課参事 錦 戸 康 成 総務課主幹 三 富 一 義 学校教育課長 松 崎 英 明 教育支援課長 金 子 武 史 給食センター長 浦 田 和 秀 対雁調理場長 内 藤 信 治 生涯学習課長 鈴 木 正 春 スポーツ課長 佐々木 倫 子 情報図書館長 岩 渕 淑 仁 郷土資料館長 原 田 昭 彦 総務課総務係長 小 林 則 幸 記録員 星 野 崇 志 傍聴者 1名
-----	------------------------------	---------------------------------------------------	-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 報告事項

- (1) 平成27年度中学生国際交流事業について
- (2) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

2 審議事項

- (1) 平成27年議案第44号
平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について
- (2) 平成27年議案第45号
教職員の事故に対する処分内申について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成27年第12回定例教育委員会の日程について

会 議 録

支部委員長

(開会)
 それでは、ただいまから、「平成27年第11回定例教育委員会」を開会いたします。
 本日の議事日程は配付のとおりであります。
 会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員にお願いいたします。
 議事に入ります前にお諮りしたい事項がございます。
 議案第45号「教職員の事故に対する処分内申について」は、人事案件でありますことから、秘密会による審議を提案するものでございます。これにご異議ございませんか。
 (一同了承)
 委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第45号は秘密会により進行いたします。
 本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。
 その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。

<秘密会につき、会議録省略>

支部委員長

委員会を再開します。議事に入ります。
 1の報告事項(1)「平成27年度中学生国際交流事業について」の報告を求めます。
 佐々木生涯学習課長お願いします。

佐々木生涯学習課長

平成27年度中学生国際交流事業についてご説明いたします。
 報告事項(1)の資料をご覧ください。
 今年度の事業については、12月3日から12月14日まで12日間での実施を予定しております。
 今回の訪問団のメンバーにつきましては、中段に記載のとおりであります。団長として、江陽中学校の大野友規子先生に生徒の引率・指導をお願いし、全体調整を江別市国際交流員のロバート・ヒギンズ氏にお願いしております。
 参加者は、中学2年生が4名、3年生が2名の合計6名であります。
 各参加者は、今年度の派遣割当てに該当する中学校からそれぞれ推薦をいただいて決定したものでございます。
 旅行日程は裏面に記載のとおりですが、訪問する生徒につきましては、12月4日から12月9日までの6日間、各家庭にホームステイをし、家庭生活を体験するとともにゴードンラッセル中学校への体験入学により、同年代の生徒との交流を行います。また12月11、12日の2日間は、オレゴン州の大自然や、アメリカ合衆国の文化に触れ、国際理解や国際感覚などの見聞を広めるプログラムとなっております。8月26日の第1回目の事前研修会を皮切りに、全9回の事前研修を既に終え、11月18日水曜日に市長への出発のあいさつを行ったところです。

支部委員長

以上でございます。
 ただいま報告のありました「平成27年度中学生国際交流事業について」、質問等がございましたらお受けします。

(質疑なし)
 それでは、本報告について終了してよろしいですか。
 (一同了承)

金子学校教育課長

次に、報告事項(2)「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について」の報告を求めます。金子学校教育課長お願いします。
 報告事項(2)「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について」ご説明いたします。
 平成27年度の全国学力・学習状況調査は、平成27年4月21日に実施され、8月下旬に文部科学省より江別市教育委員会にその集計結果が送付されました。
 その結果の分析が終わりましたので、ご報告するものです。
 それでは、資料の1ページをご覧ください。
 Iの調査の概要です。

まず、1の調査の目的ですが、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することや、学校における児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるものです。

次に2の調査の対象学年及び調査を実施した学校・児童生徒数は、記載のとおりです。江別市立小中学校全校の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施しております。

3の調査の内容、4の調査方式、5の調査期日は記載のとおりです。今年度は3年に1度の「理科」の調査が実施されております。

次にⅡの結果の概要です。

まず1の教科に関する結果の概要ですが、平均正答率の全道との比較では、小学校、中学校ともに、すべての教科において上回っております。

全国との比較では、小学校では国語A・B及び理科が上回り、算数A・Bが下回っており、中学校でも、国語A・B及び理科が上回っており、算数A・Bが下回っております。

次に、2の質問紙調査に関する結果の概要です。

平日に3時間以上テレビやビデオを見る割合が、全国平均を上回っており、平日にテレビゲームを3時間以上する割合は、中学校3年生は全国平均を下回っていますが、小学校6年生は上回っています。

「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う」、「礼儀正しいと思う」割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を大きく上回っており、江別市の学校は大変落ち着いた状態にあると言えます。

また、算数・数学の授業でパソコンや電子黒板、実物投影機等を活用して授業を行った割合は全国平均を大きく上回りICTを活用した授業が積極的に行われています。

次にⅢの各教科の結果は、2ページから7ページにかけて記載してありますので、主な点についてご説明します。

まず、2ページをご覧ください。小学校の国語Aです。

左側のグラフは、正答数の分布グラフです。棒グラフが江別市の状況、三角の折れ線グラフが北海道、ひし形の折れ線グラフが全国の状況です。

右側の上段の表は、この科目の江別市・北海道・全国の平均正答数と平均正答率を記載しております。

右側の下段の表は、学習指導要領の領域別の設問数と平均正答率を記載しております。

国語Aの結果としましては、平均正答率は71.1%で、北海道を3.0ポイント、全国を1.1ポイント上回っています。

領域別では「書くこと」「読むこと」が全国を上回り、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する次項」が全国を下回っています。

次に、国語Bです。江別市の平均正答率は65.9%で、北海道を2.9ポイント、全国を0.5ポイント上回っています。

領域別では、「読むこと」が全国と同様で、「書くこと」が全国を上回っています。

次に、3ページをご覧ください。

算数Aです。江別市の平均正答率は、74.8%で、北海道を2.5ポイント上回り、全国を0.4ポイント下回っています。

領域別では、「図形」が全国を上回り、その他の領域が全国を下回っています。

次に、算数Bです。江別市の平均正答率は44.4%で、北海道を1.9ポイント上回り、全国を0.6ポイント下回っています。

領域別では、「数と計算」が全国を上回り、その他の領域が全国を下回っています。

次に、4ページをご覧ください。

理科です。江別市の平均正答率は61.9%で、北海道を2.6ポイント、全国を1.1ポイント上回っています。

領域別では、「物質」「エネルギー」が全国を上回り、「生命」「地球」が全国を下回っています。

次に中学校です。

まず、国語Aです。江別市の平均正答率は76.6%で、北海道を0.8ポイント、全国を0.8ポイント上回っています。

領域別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を上回り、「読むこと」が全国を下回っています。

次に、5ページをご覧ください。

国語Bです。江別市の平均正答率は65.9%で、北海道を0.2ポイント、全国を0.1ポイント上回っています。

領域別では、「読むこと」が全国を上回り、その他の領域が全国を下回っています。

次に、数学Aです。江別市の平均正答率は、63.9%で、北海道を0.9ポイント上回り、全国を0.5ポイント下回っています。

領域別では、「図形」「関数」が全国を上回り、「数と式」「資料の活用」が全国を下回っています。

次に6ページをご覧ください。

数学Bです。江別市の平均正答率は40.7%で、北海道を1.0ポイント上回り、全国を0.9ポイント下回っています。

領域別では、全ての領域が全国を下回っています。

次に、理科です。江別市の平均正答率は55.9%で、北海道を2.6ポイント、全国を2.9ポイント上回っています。

領域別では、すべての領域が全国を上回っています。

次に、7ページをご覧ください。

IVの質問紙調査の結果について、主な点をご説明します。

まず、1の「児童生徒質問紙」は、児童生徒が学習習慣や生活習慣等について回答したものであり、「家庭の生活」など8項目について、学力や生活習慣などの特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取組を四角で囲んだ部分に記載しています。

(2)の、自己肯定感の①②③、難しいことへの挑戦意欲や自己肯定感、将来の目標等については、いずれも、昨年度を上回っており、市内の学校で、一人ひとりの良さや可能性を見つけて伝えたり、将来について考えさせたりする指導が実施されてきた結果、子ども達の自己肯定感の向上に繋がっていると思われます。

8ページをご覧ください。

(4)学校の授業以外の勉強では、小中学生ともに、自分で計画を立てて勉強している割合が全国平均を上回っています。塾なども含め平日に1時間以上家庭学習をしている割合は全国平均を下回っていますが、昨年度よりも改善しています。学校からの宿題はもとより、各家庭においても、望ましい生活習慣を確立し、毎日学習に取り組むようにする必要があります。

次に9ページをご覧ください。

2の「学校質問紙」は、学校の教育活動等について学校が回答した結果であり、「学习态度・礼儀正しさ」など4項目について、学力向上等の取組の中から特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取組等を四角で囲んだ部分に記載しています。

(2)長期休業中の学習サポートでは、夏休みや冬休みに、延べ5日以上学習サポートを実施した学校の割合が全国平均を大きく上回っており、基礎学力の定着のため、教職員とサポート教員により、江別市の全小中学校で取り組まれていることが現れています。

(3)家庭学習の課題では、国語や算数・数学の宿題をよく与える割合は、小中学校ともに、昨年度より増加しており、先ほどの児童生徒質問紙での、「自分で計画を立てて勉強している」割合が高いことと合わせて、今後も学習内容を定着させるため、学校が宿題を計画的に与えるとともに、家庭において確実に取り組ませることが大切であると言えます。

なお、11ページから22ページは、児童生徒質問紙と学校質問紙の項目について、グラフを掲載しておりますので、ご参照ください。

続きまして、23ページをご覧ください。

江別市「学校改善支援プラン」です。

まず、上段の「明らかになった課題」としましては、アでは、全国学力・学習状況調査を活用した継続的な検証サイクルを確立し、学校がチームとして学力向上の取組を推進していくこと、イでは、算数・数学の基礎的・基本的な知識・技能を活用することに課題があり、指導方法等の工夫改善やICT等による授業改善、学習サポートの充実等が必要であること、ウでは、授業以外の学習時間が短いことから、家庭学習の定着や望ましい生活

金子学校教育課長	<p>リズムを確立する必要があること、また、エでは、自己肯定感や自己有用感を高める教育の充実、オでは、読書活動の充実を図る取組の継続、カでは、地域の人材活用を一層充実していく必要があるとしております。</p> <p>資料の下段、左側は「課題解決に向けた学校の取組」となっています。</p> <p>右側が、「学校に対する教育委員会の支援」であり、特に、1の学校への取組への支援を引き続き図りながら、2の「教職員の指導力向上に向けた支援」の(1)教職員夏期・冬期セミナーや、3「人的・物的支援」の(1)小中学校学習サポート事業、(2)小中学校英語活動の支援事業、(6)ICT環境の整備、(7)学校図書館支援事業などについて、今後もさらに充実に努めていく必要があると考えております。</p> <p>これら分析結果と支援プランについては、来月の校長会におきまして各学校に情報提供を行い、市教委と学校が連携・協力し、「江別市学校改善支援プラン」の取組をとおして、教育指導や学習状況の改善を図っていききたいと考えております。</p> <p>なお、調査結果については、昨年度と同様、ホームページで公表する予定です。</p> <p>以上です。</p>
支部委員長	<p>ただいま報告のありました「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について」質問等がございましたらお受けします。</p>
上野委員	<p>年々、学力が向上しており、自己肯定感も向上していて、非常に良いと思っています。来年度も頑張りたいと思っています。</p>
金子学校教育課長	<p>ところで、北海道教育委員会に調査結果の公表を同意する際、道教委に提出する資料については、この調査結果を元に作成して提出するのでしょうか。</p> <p>北海道教育委員会に公表同意をする際、提出する資料につきましては、北海道教育委員会と江別市教育委員会で協議し、この調査結果とは別の資料を作成しております。全道統一的なレーダーチャートの形での、小学校1枚、中学校1枚で公表を予定されておりました、北海道教育委員会からは、本日、記者発表になると連絡を受けています。</p>
支部委員長 橋本委員	<p>その他質問ありませんか。</p> <p>昨年比べて宿題が増えているという印象を受けるのですが、ご家庭からの不満などはなく、スムーズに連携がとれて、ご協力いただけている状態なのでしょうか。</p>
金子学校教育課長	<p>23ページの学校改善支援プランの、上の「明らかになった課題」の中で、ウに宿題のことについて言及している部分があります。それから、左下の「課題解決に向けた学校の取組」の中でも、5番に「宿題の工夫」があります。学校でも、各学校の学習状況調査の結果を学校だよりなどで各家庭にお知らせしながら、学校がこれからどのような指導の工夫をしていくのかということ、それぞれの学校ごとに保護者にお知らせしている中での宿題の取組ということになりますので、十分に保護者の了解を得ながら進めているものと考えています。以上です。</p>
金子学校教育課長 支部委員長	<p>昨年度の全国学力・学習状況調査の良い結果を聞いております。また、今年度も優秀な成績で江別市の結果が出ていると思います。まずは、現場の教職員の皆さんに賛辞を送りたいと思うところです。</p> <p>また、「課題解決に向けた学校の取組」ということで要点がまとめられていますので、これを実践されていくことを希望するところです。</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
斉藤部長	<p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>平成27年議案第44号「平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について」の説明を求めます。斉藤教育部長お願いします。</p> <p>平成27年議案第44号「平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について」ご説明いたします。</p> <p>本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、「地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他、特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかなければならない。」と定められていることから、この規定に基づく教育委員会の意見聴取の前段として、教育予算要求の主な内容をご審議いただこうとするものであります。</p> <p>昨年度及び今年度に続き、次年度も学校の耐震改築工事が行われるため、予算要求額が</p>

<p>斉藤部長</p>	<p>巨額に上ることが予想されます。 経常費は財政当局へ提出済みであります。臨時費は本日が予算要求期限となっております。一部、不確定な要素もあり、要求金額や内容に今後変更が生じる場合がありますことをあらかじめご承知置き願います。 このあと、予算要求方針につきましては次長から、各事務事業につきましては各所管課長から、順次ご説明申し上げます。</p>
<p>萬次長</p>	<p>私から、資料の2ページに記載しております来年度の教育予算要求方針についてご説明いたします。 上から7行目以降に触れておりますとおり、江別市では、現在、第6次総合計画に基づき全市的に様々な取り組みを進めており、その基本構想部分において、まちづくりの基本理念の一つとして「子育て応援のまち」を掲げ、子育て支援や教育内容などの充実を図ることとしています。 さらに、今年度新たな教育委員会制度の下設置した、総合教育会議の協議を経て、向こう4年間の教育行政の拠り所となる「江別市教育大綱」を策定したところです。 教育部では、これら総合計画や教育大綱の理念実現のための具体的な政策展開について、記載の3つの個別計画等に基づきながら、教育施策を推進する方針のもとに、必要な予算要求を行います。主要なものは次の4点であります。 1点目は、全市的に取り組んでいる「安全・安心の確保」のため、学校教育施設や社会体育施設の耐震化及び非構造部材の耐震対策を継続して進めていこうというもの。 2点目は学力向上には基礎学力の定着が大切なことから、引き続き退職教員等による学習サポートを推進するほか、ICTを活用した学習環境整備を進めていこうとするもの。 3点目は、生涯学習活動、文化・芸術活動の振興を図るため、公民館や文化ホールの維持・補修を適切に行っていこうというもの。 4点目は、社会体育施設の維持・補修を適切に行ってその機能の充実を図るとともに、スポーツが健康の増進や合宿誘致によるシティプロモートなどにも深く関わりを持つことから、その一層の推進を図ろうというもの、であります。</p>
<p>大村総務課長</p>	<p>私からは以上ですが、詳しくはそれぞれの所管課長等から順次ご説明いたします。 それでは、現在、新年度事業として予定しております事業のうち、総務課の主な事業についてご説明いたします。 資料の3ページをご覧ください。 まず、学校の校舎屋体耐震化事業といたしまして、江別太小学校及び江別第一中学校の外構工事のほか、引き続き、江別小学校と江別第三小学校の統合校である江別第一小学校にかかる改築工事を行います。 また、屋内体育館の非構造部材の耐震対策を計画的に進めてまいります。 次に、遠距離通学送迎事業といたしまして、江北地区、豊幌地区、東西野幌地区、角山地区の4路線について、スクールバス及びスクールタクシーを運行し、登下校時における児童生徒の安全確保を図ってまいります。 このほか、私立高校への助成金は、札幌地区私立中学高等学校PTA連合会から要望を受けているところであり、厳しい財政事情の中で現行補助金額を確保いたします。</p>
<p>金子学校教育課長</p>	<p>以上です。 続いて、学校教育課所管分の主要事業についてご説明いたします。 資料の4ページをご覧ください。 子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着を図るため、「小中学校学習サポート事業」において、引き続き、授業におけるティームティーチングや少人数指導、放課後学習などに取り組むため、学習サポート教員を学校に派遣します。 「児童生徒体力向上事業」では、北翔大学の協力のもと、市内の小中学校で、モデル校での取組など、各学校の状況に応じた子どもたちの体力向上に継続して取り組みます。 「小中学校外国語教育支援事業」は、従来の小学校と中学校の事業を統合することにより、外国語指導助手の活用をさらに図りながら、平成27年度から小学校1年生まで拡大した外国語教育に継続して取り組んでいきます。 「情報教育推進事業」では、コンピュータの更新等を行うほか、電子黒板で提示できるデジタル教科書の整備を図ります。また、平成28年度開校の江別第一小学校をモデル校として、タブレットパソコンや校内LAN等の新たなICT教育環境を整備します。</p>

金子学校教育課長	<p>そのほか、「社会人による教育活動等支援事業」、「学校図書室事業」、「キャリア教育推進事業」などを継続して実施します。</p> <p>以上です。</p>
浦田教育支援課長	<p>続きまして、教育支援課担当所管の主要事業について、ご説明いたします。</p> <p>資料の5ページをご覧ください。</p> <p>まず、「問題行動対策事業」及び「いじめ・不登校対策事業」であります。いじめや不登校、問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応に取り組むため、専任指導員等の人員配置、ネットトラブルの防止、不登校児童生徒を対象としたスポットケア事業等を実施します。</p> <p>なお、「いじめ、不登校対策事業」のうち、不登校児童生徒の学習支援等を実施しているスポットケア事業は、一般的には適応指導教室と言われているものであります。</p> <p>江別市では現在、青年センターで週2回実施しているところですが、来年度は支援の充実を図るために、週3回の実施に拡大する予定であります。この業務拡大に対応するための方策として、専任指導員の1名増などを見込んでおります。</p> <p>次に、「特別支援教育推進事業」であります。特別支援教育コーディネーターや特別支援教育補助員の配置、教員・保護者を対象とした研修会を開催するほか、大学教授や特別支援学校教諭等で構成する専門課チームによる巡回相談等、引き続き必要な支援を実施します。また、児童生徒の障がいに応じた適切な教育が受けられるよう特別支援学級の教室等の施設整備を実施します。</p> <p>具体的には、肢体不自由学級の開設が予定されている学校に車椅子でも使用できる水飲み場の設置、排泄管理が困難な児童のいる学校にシャワー設備等の設置を予定しております。</p>
内藤センター長	<p>以上です。</p> <p>続きまして給食センター所管分についてご説明いたします。</p> <p>6ページをお開きください。</p> <p>食育の推進につきましては、各学校における校内体制の充実、食に関する指導の全体計画の改善・充実及び学校の特色に応じた食育推進の取組を実践していくために必要な助言や援助を行います。</p> <p>また、学校給食へ地場産の米、麦や野菜など安全・安心な食材を安定して提供するとともに、引き続き地場産品の使用拡大を図ります。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>以上です。</p> <p>続きまして、生涯学習課の主要事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の7ページをご覧ください。</p> <p>生涯学習係所管の生涯学習に関する事業につきましては、多種多様化している市民ニーズに対応するため、大学等の知的資源の有効活用を図るとともに、効果的な学習機会の確保など、生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりを行います。</p> <p>28年度は、「えべつ市民カレッジ事業」が増額となっております。この事業は27年度から学びの記録となるカレッジ手帳を発行し、受講数に応じた称号の認定制度を導入しております。この称号を授与する際に贈呈する記念品作成経費のほか、事業の周知を強化するため、講座のスケジュールを一覧化したチラシを広報えべつへ折り込む経費を要求しております。</p> <p>また、「公民館施設補修整備」「市民文化ホール施設改修事業」が大幅に増額となっております。これは、老朽化が進む公民館等の補修を行うもので、野幌公民館の非常用発電設備更新などに係る経費を要求しております。</p> <p>続きまして、文化振興に関する事業につきましては、優れた文化・芸術作品の鑑賞機会の充実を図るとともに、市民団体が主体的に行う舞台芸術や展示発表、また次代を担う子どもたちを育む参加創造型の取組を支援し、「市民と共に創造する文化活動」を充実させていきます。</p> <p>28年度は、市民芸術祭開催事業が増額となっております。これは、3年に1度開催する市民ミュージカル開催に要する経費であります。</p> <p>次に、青少年に関する事業ですが、子どもの可能性を引き出す教育を実践するため、基本的な生活の場である家庭・学校・地域と連携し、主体性や社会性を育む、ボランティア活動・自然体験・社会体験など各種事業を推進するほか、活動団体等への支援を通じて子</p>

佐々木生涯学 習課長	<p>供たちの健全育成を図ります。</p> <p>28年度の主な変更点ですが、「中学生国際交流事業」「小中学生国内交流研修事業」の増額につきましては、旅費の値上げによるものです。</p> <p>「こいのぼりフェスティバル開催団体補助金」につきましては、こいのぼりを川に渡す際の屋上での作業を安全に実施するために、転落防止柵を架設するために要する経費と、フェスティバル当日の駐車場誘導員配置にかかる経費を要求しております。</p> <p>以上です。</p>
岩淵スポーツ 課長	<p>続きまして、スポーツ課の主要事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の8ページをご覧ください。</p> <p>平成26年度からの第5期江別市スポーツ推進計画において、「生涯スポーツの推進」、「地域スポーツ活動の推進」、「スポーツ環境の整備・充実」の3つを基本目標として掲げ、青少年の体力向上、人や地域の交流、活力ある長寿社会の形成などに向けて、市民が日常的にスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。</p> <p>そのため、生涯スポーツの推進として、スポーツ指導者の養成による指導体制の充実や、スポーツ選手の育成強化などで競技力向上を図るとともに、各種大会への支援を行います。</p> <p>スポーツ環境の整備・充実として、体育施設利用者の安全確保のため、体育施設の適切な維持管理を継続するとともに、大麻体育館の耐震改修工事及び耐震実施設計を実施し、市民スポーツ活動の環境整備に努めます。</p> <p>また、スポーツを通じたシティプロモートの一環として、東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機に合宿誘致を進め、市民と合宿参加選手との交流や実技指導を通して江別市のスポーツ推進を図ります。</p> <p>28年度の各事業の主な変更点は、「屋内・屋外体育施設管理運営事業」では、大麻体育館の耐震改修工事を予定しており、工事期間中の6か月間第一体育室を休館するため、利用料金収入を保証する経費のほか、第一小学校のプール授業を青年センターで行うための経費が増加するものです。</p> <p>「スポーツ大会等振興補助事業」では、大会運営に係る人件費や備品のリース料が増加となっております。</p> <p>「体育施設整備更新事業」では、大麻体育館第一体育室の耐震改修工事等の実施及びトレーニング室棟の実施設計を予定しており、その他、維持修繕や備品購入に関する経費が増額となっております。</p> <p>「体育協会やスポーツ少年団への補助」では、年々団員が減少傾向にあるスポーツ少年団への補助を強化し、活動を支援していこうとするものです。</p> <p>「スポーツ合宿誘致推進事業」は、28年度から本格的に誘致活動を行おうとするもので、各競技団体へのPR活動に要する経費や空港から合宿会場、宿泊施設の間のバス輸送経費、施設使用料の一部を補助する経費などを見込んでおります。</p> <p>以上です。</p>
原田情報図書 館長	<p>続きまして、情報図書館の主要事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の9ページをご覧ください。</p> <p>「読書普及活動事業」は子ども達に童話を読むことで、子ども達の感性や情操を育むとともに、保護者に対しても読書への関心を高める機会として「おはなし会」を開催します。</p> <p>また、「子どものための読書環境整備事業」では小中学校の学校図書館へ学校司書が巡回し、読書環境の整備を進めるとともに、学校からの要望を踏まえながら、朝読書や調べ学習などの教育活動を支援し、生徒の学力向上を図ります。</p> <p>「図書館資料整備事業」では、利用者の様々な要望にお応えできるよう、幅広い分野の図書資料を収集してまいります。</p> <p>以上です。</p>
小林郷土資料 館長	<p>続きまして、郷土資料館の主要事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の10ページをご覧ください。</p> <p>郷土資料館所管の主な事業についてご説明いたします。</p> <p>「ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業」は、市民が郷土の歴史や文化を学ぶ事業を引き続き実施いたします。</p> <p>「野幌太々神楽伝承会補助金」は、同会から伝統芸能保存と普及活動への支援要望を受</p>

小林郷土資料館長	<p>け、現行補助金額を要求するものです。</p> <p>「セラミックアートセンター企画展開催事業」は、(仮称)トイレ民俗誌～染付便器と北海道～展ほか計3本の企画展を実施いたします。</p> <p>次に、「セラミックアートセンター改修事業」といたしまして、開館から22年を経過し、経年劣化している電気設備などの整備を行い快適な施設環境を保持いたします。</p> <p>以上です</p>
支部委員長 橋本委員	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>給食センターの学校給食事業、6ページですが、これだけ予算が減っているのは、それだけ児童生徒数が減っているからでしょうか。</p>
内藤給食センター長	<p>児童生徒数は、来年度300名ぐらいの減少を見込んでいますが、その児童生徒数は直接予算には影響しておりません。主に給食センターの中の施設設備等の整備に必要な金額の積み上げによって、平成28年度はこの予算額となっております。</p>
橋本委員 内藤給食センター長	<p>給食費は皆さんからいただいているお金によって全て賄っているのでしょうか。</p> <p>給食費は市の財源ではございません。児童生徒が実際に食べる額を保護者から給食費として支払っていただき、そこから食材を購入しているという形なので、給食事業の予算には給食費は含まれておりません。</p>
橋本委員 内藤給食センター長	<p>様々な活動の中とか施設設備の整備の部分で減るということですか。</p> <p>そうです。</p>
橋本委員 支部委員長 郷委員	<p>分かりました。</p> <p>その他ありませんか。</p> <p>何点かありますが、毎年、質問しているのですけれども、3ページ目の「地域一体型学校の顔づくり事業」の件について、近年はどういった顔づくり事業をされているのでしょうか。</p>
大村総務課長	<p>学校によってさまざまな事業が行われていますが、主なものとしましては、花壇の整備や図書館の活動、郷土を愛する心を育むということで農業活動をされている所もございません。</p>
郷委員	<p>一押しのようなものがあればと思って伺ってみたのですが、だいたい各学校で決めていて、花壇や図書が多いということですね。</p>
郷委員	<p>次ですが、4ページ目の学校教育課の説明の際に、次年度のデジタル教科書の導入の件をお話しされていましたが、どういった内容で導入の方を考えておられますか。例えば小中学校にとり、それとも新しく出来る江別第一小学校にすべて使っていただくというか、モデル的に使ってもらうように設備するというような内容で何かあれば説明をお願いします。</p>
金子学校教育課長	<p>要求段階では、やはり市内小中学校からの要望が非常に強くなっておりまして、できればすべての小学校中学校に、少しずつでも段階的にでも入れていきたいという予算の要求を行ってはおりますが、第一小学校をモデル的にICT先進校としているという面もありますので、若干第一小の予算を少し多めにした内容となっております。</p>
郷委員 金子学校教育課長	<p>教科に関してはどうですか。</p> <p>基本的には先ほどの全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、算数・数学を中心に学校には検討してもらいたいと考えておりますし、学校にアンケート調査をした結果でも、やはり算数で一番使いたいと、特に小学校ではそのような要望が強いです。こうした要望も踏まえて、基本的には算数中心でと考えておりますが、ただ、学校予算で既に算数を買っているということもありえるので、最終的には学校が決めると考えております。</p>
郷委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう一点良いでしょうか。7ページ目の生涯学習課の説明でありました江別市民カレッジの件ですが、カレッジ手帳については、学生さんにとって、受講される方にとって良いと思われるのですけれども、記念品とは、どういったものと考えておられるのですか。</p>
佐々木生涯学習課長	<p>学生さんが受講した受講数に応じて認定する称号がありますが、その称号に応じまして、胸元につけるバッジと受講の際に使用していただくと思ひまして、ペンを用意しております。</p>
郷委員 上野委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>教育支援課でネットパトロールを行っていますが、費用に対する成果を分かる範囲で教</p>

上野委員 浦田教育支援 課長	<p>えてください。</p> <p>ネットパトロールにつきましては、実際に行ってみた結果、いじめに関する事例は1件も検出されておられません。</p> <p>ネットパトロールで検出された内容ですが、ツイッターなどで個人情報、自分の名前などを載せているという事例が検出されています。</p> <p>ネットパトロールは、毎年行っていますが例年、検出される件数は少なくなってきています。</p> <p>ただし、ネットパトロールは、インターネット上で見つけれられるものが対象となっておりまして、いわゆるラインなどにつきましては、ネットパトロールなどでは見つけれられるものではありません。</p> <p>ラインによるいじめは、可能性はあるとは思いますが、その件につきましては、教職員研修などを開催しており、児童生徒に指導すべき内容などを講義しております。</p>
上野委員	<p>もう一点、郷土資料館の事業について、今年よりも次年度の予算がかなり上がっていますが、何か発掘すべき、めぼしい物が見つかったのでしょうか。</p>
小林郷土資料 館長	<p>これは、例年出させていただいている数字で、特にこれというところは無いです。新たに高砂駅の所で発掘を予定していますが、これは一括して建設部の方で予算を上げておりまして、郷土資料館としては例年どおりです。</p>
支部委員長	<p>その他ありませんか。</p>
大村総務課長	<p>それでは、平成27年議案第44号「平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について」を承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p> <p>次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。大村総務課長お願いします。</p>
支部委員長	<p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、「平成27年第4回江別市議会定例会の一般質問について」、「平成28年成人のつどいの開催について」、審議事項として、「平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について」などを予定しております。また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、12月25日金曜日午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
支部委員長	<p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は12月25日金曜日午後2時からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第11回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後3時04分

署名人(委員長) 支部 英孝

署 名 人 郷 早見